

科目名：子どもの理解と援助		講義・ <b>演習</b>	担当教員名： 澁谷美枝子
			実務経験： 無
2 年次 後期	1 単位		選択必修 / <b>必修</b>
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する</li> <li>・子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する</li> <li>・子どもを理解するための具体的な方法を理解する</li> <li>・子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する</li> </ul>			
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの実態に応じた発達や学びの把握</li> <li>・子どもを理解する視点 ・子どもを理解する方法</li> <li>・子どもの理解に基づく発達援助</li> </ul>			
授業計画			
1	保育における子ども理解の意義		
2	子どもの理解に基づく「養護と教育が一体となった保育」の展開		
3	子どもに対する共感的理解と関わり		
4	子どもの体験と学び		
5	子どもを理解する視点1（子どもの生活や遊び）		
6	子どもを理解する視点2（保育の人的環境としての保育者）		
7	子どもを理解する視点3（子ども相互の関わりと子ども集団）		
8	子どもを理解する視点4（葛藤やつまずきと発達）		
9	子どもを理解する視点5（保育環境の理解と構成）		
10	子どもを理解する方法1（観察・記録と省察・評価）		
11	子どもを理解する方法2（保育者間の対話と情報の共有）		
12	発達の課題に応じた援助と関わり		
13	特別な配慮を要する子どもの理解と援助		
14	発達の連続性と就学への支援		
15	まとめ（試験）		
テキスト 使用しない。適宜資料を配布する。			
参考書等 前期の授業「保育の心理学」で使用したテキスト			
評価の方法 授業中の演習への取り組み、レポート、定期試験によって総合的に評価する			